

取扱説明書

SILK ROOM

業務用

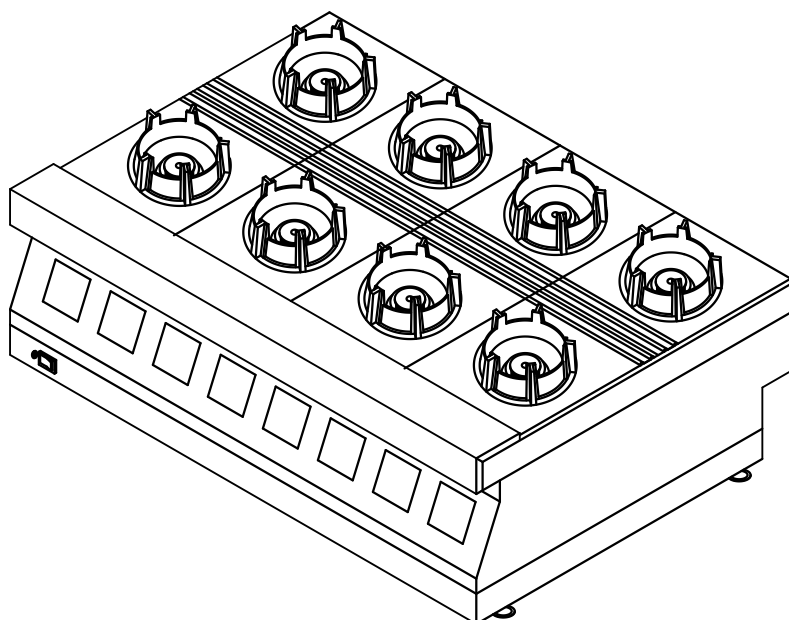
ガスマイコン制御土鍋炊飯コンロ

土鍋ガッツ楽々

品番 SCAK-082A

SCAK-062A

SCAK-042A



SCAK-082A

家庭用には使用しないでください

このたびは、ガスマイコン制御土鍋炊飯コンロ「土鍋ガッツ楽々」を、お買い上げ頂きましてありがとうございます。製品を末永く安全に使用していただくため、ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みください。よく理解した上で正しくお使い頂き、いつでも取り出せるところに、保管しておいてください。

目 次

■ 《ご使用前に》または《安全に正しくお使い頂くために》	2
■ 表示と意味	
■ 絵表示について	
■ 特に注意していただきたいこと	3～5
■ ガス漏れの処置	
■ 使用ガスについての注意	
■ 火災注意	
■ 火災予防	
■ 異常時の処置	
■ 注意－使用上の注意	
■ お願い	
■ 各部の名称と仕様	6～7
■ 各部の名称	
■ 消耗品	
■ 仕様表	
■ 設置について	8～9
■ 設置前の準備	
■ 設置場所	
■ 設置方法	
■ 試点火及び試運転	
■ ご使用方法	9～13
■ ご使用前の準備	
■ 操作の方法	
■ 火力の調節	
■ 安全装置	
■ ご使用時の注意	
■ 停電時・災害時のご使用方法	
■ 操作パネルご使用方法	
■ エラーについて	
■ 土鍋の選び方（参考）	
■ 日常の点検・お手入れ	14～17
■ 点検・お手入れの際の注意	
■ 点検	
■ お手入れ	
■ 点火プラグ、立消え安全装置（フレームロッド）の点検・お手入れ	
■ バーナキャップのお手入れ	
■ バーナのお手入れ	
■ 故障・異常の見分け方と処置方法	17
■ 長期間使用しない場合	18
■ アフターサービスについて	18
■ サービス（点検・修理など）を依頼される前に	
■ 転居または機器を移設される場合	
■ 保証について	
■ 消耗品	
■ 補修用性能部品の最低保有期間について	
■ 連絡先	
■ 保証書	19




■ 《ご使用前に》 または 《安全に正しくお使い頂くために》

安全に正しく使用して頂くために必ずお読みください。









ここに示した注意事項と絵表示は機器を安全に使用していただきお使いになる人や他の人への危害や、財産への損害を未然に防止するためのものです。必ずお守りください。

■表示と意味

誤った取り扱いや設置により生じる危害・損害の程度を3つに区分しています。

 危険	この表示を無視して、誤った取扱をすると、人が死亡、重傷を負う危険、または火災の危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。
 警告	この表示を無視して、誤った取扱をすると、人が死亡、重傷を負う可能性、または火災の可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して、誤った取扱をすると、人が軽傷を負う可能性や物的損害の発生が想定される内容を示しています。

■絵表示について次のような意味があります。

 一般的な注意	このような絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」の内容です。
 火気禁止	このような絵表示は、火気を使ってはいけない「禁止」内容です。
 高温注意	このような絵表示は、高温に気をつけていただきたい「注意喚起」の内容です。
 一般的な禁止	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
 触手禁止	このような絵表示は、手を触れてはいけない「禁止」内容です。
 必ず行う	このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。
 換気必要	このような絵表示は、必ず換気をしていただく「強制」内容です。
 分解禁止	このような絵表示は、分解・改造してはいけない「禁止」内容です。

■ 特に注意していただきたいこと（安全のために必ずお守りください。）

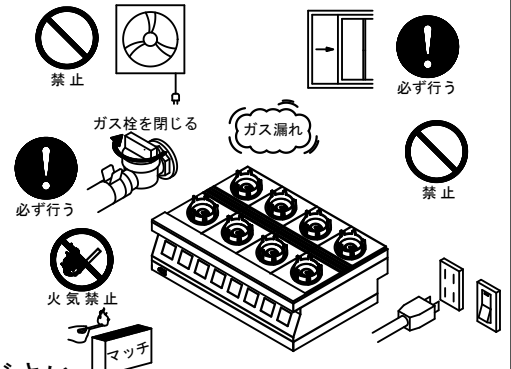
⚠ 危険

■ ガス漏れの処置

ガス漏れに気付いたときは①～③の処置が終わるまでの間、絶対に火をつけたり電気器具（換気扇その他）のスイッチの入・切や電源プラグの抜き差し及び周辺の電話を使用しない。

炎や火花で引火し爆発事故を起こすことがあります。

- ①すぐに使用をやめ、ガス栓を閉じてください。
- ②窓や戸を開けガスを外へ出してください。
- ③お買い上げの販売店またはガス事業者に連絡してください。



⚠ 警告

■ 使用ガスについての注意

必ず形式銘板（機器右側面に貼付）に表示しているガス（ガスグループ）及び電源（AC100V）を使用する。転居した時も、供給ガスの種類・電源が銘板の表示と一致していることを必ず確認する。

不完全燃焼により一酸化炭素中毒になったり、爆発着火でやけどしたりすることがあります。また、故障の原因にもなります。わからない場合はお買い上げの販売店またはガス事業者に連絡してください。

例：都市ガス12A、13Aの場合

品番：SCAK-082A
形式名：SCAK-082A
都市ガス12A、13A用
ガス消費量 12A 22.40kW
13A 24.00kW
定格電圧 AC100V
定格周波数 50/60Hz
定格消費電力 107/104W
00.00-000000
山田金属工業株式会社

■ 火災注意

スプレー、ガソリン、ベンジンなど引火のおそれのあるものを近くで使用しない。機器の周囲にスプレー缶を置かない。



熱でスプレー缶の圧力が上がり爆発のおそれがあります。

■ 換気に注意

窓を開けるか、換気扇を回すなどして必ず換気をしてください。



換気必要

不完全燃焼による一酸化炭素中毒で死に至る危険があります。

■ 火災予防

火をつけたまま放置することは禁止します。



禁止

料理中のものが焦げたり、燃えたりして火災になる場合があります。

■ 火災予防

機器の上やまわりには、可燃性（カーテン、新聞紙、紙袋など）や引火性（エアゾール缶など）のものは置かない。



禁止

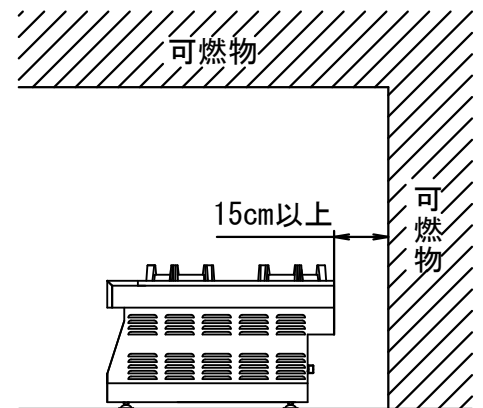
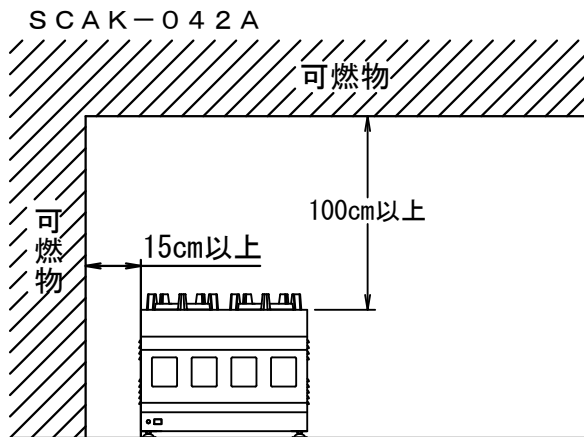
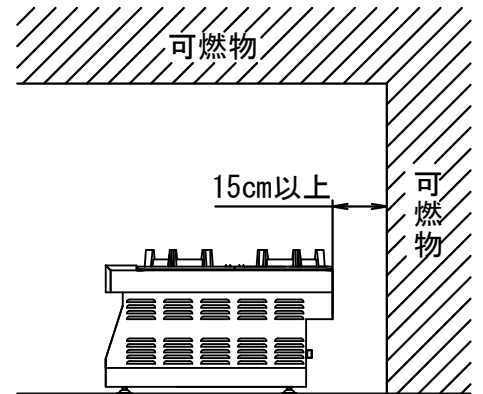
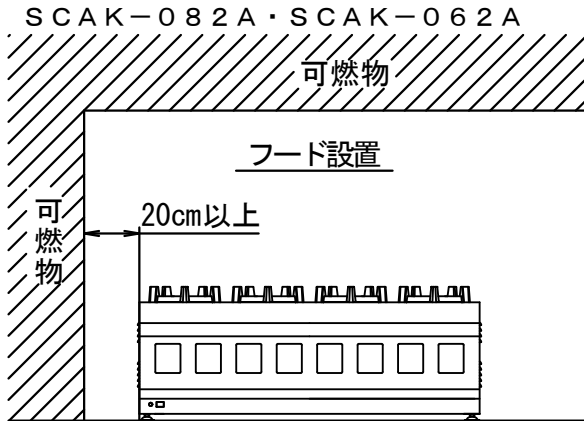
焦げたり、燃えたりして爆発や火災の原因となります。

■ 特に注意していただきたいこと（安全のために必ずお守りください。）

 警告

■ 火災予防

設置や移動の際、（家具や壁・棚など）可燃性の部分から下図寸法を守って設置する。



■ 異常時の処置

使用中に異常な燃焼・臭気・異常音が感じられたときや、地震・火災など緊急の場合は、あわてずに機器の電源スイッチを切り、ガス栓を閉じて使用を中止する。

故障・異常の見分け方と処置方法（17ページ）に従ってください。



ガス栓を閉じる

■ 点火確認・消火確認

使用時の点火、使用後の消火のほか、使用中もときどき正常に燃焼していることを確かめる。

使用後は消火と電源スイッチが『OFF』になっていることを確かめ、ガス栓を必ず閉じてください。ガス漏れを防止するためです。



必ず行う

■ 日常の維持管理

日常の点検・お手入れを実施して火災予防上支障のない状態に維持管理することが、火災予防条例で求められています。

器具内部に油汚れが蓄積すると火災の原因となります。また、炎口が詰まったり消耗したバーナは、未着火、立消えの原因となり、ガス漏れの危険が増します。



必ず行う

■ 特に注意していただきたいこと（安全のために必ずお守りください。）

⚠ 注意

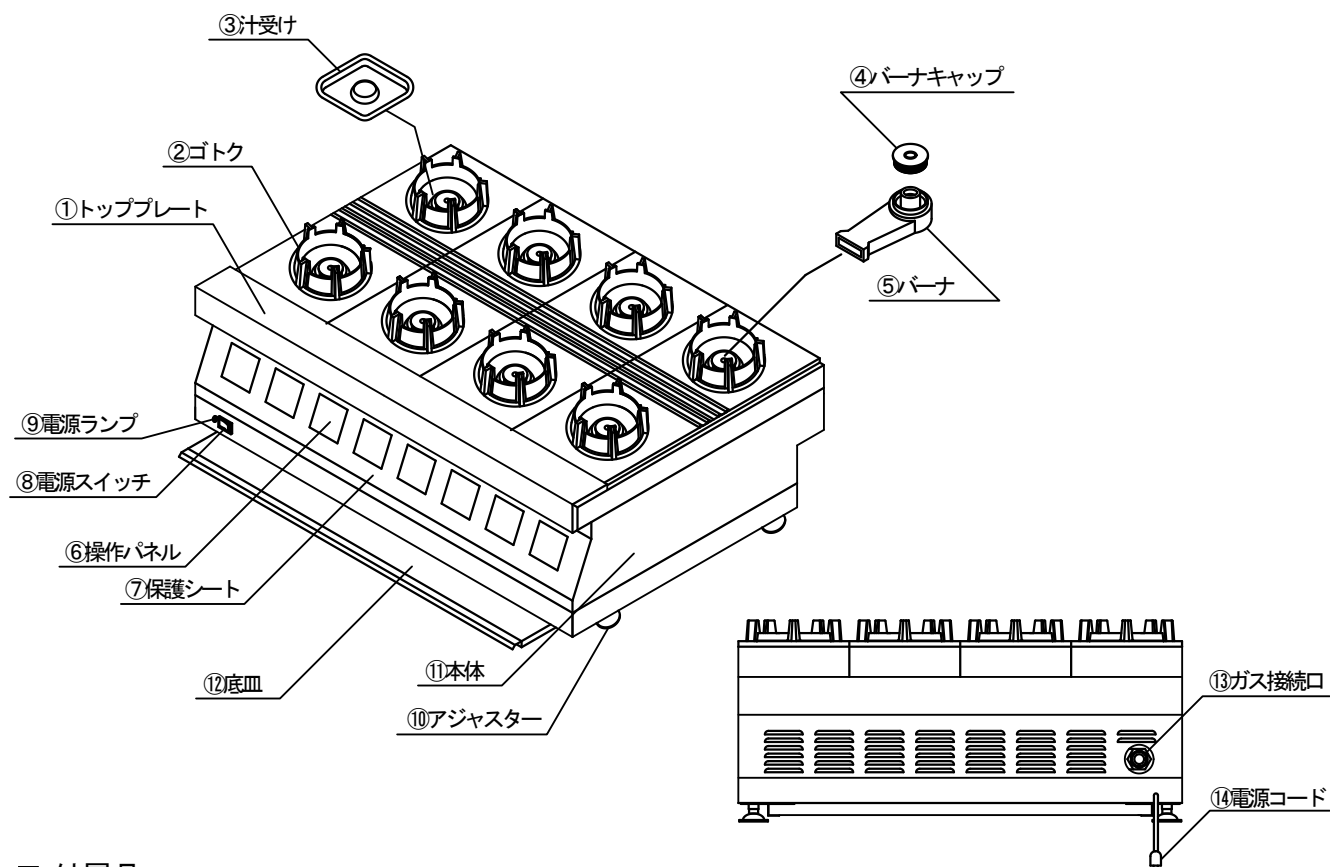
<p>■ 使用上の注意 ガス接続 ゴム管は使用できません。</p> <p> 必ず行う</p> <p>都市ガスは金属可とう管で、LPガスは金属フレキシブルホースで必ず接続してください。</p>	<p>■ 使用上の注意 使用中や使用直後は、高温部（ゴトク・汁受け・バーナ等）には触れない。</p> <p>  禁止 触手注意</p> <p>機器本体とその周辺及び調理器具が熱くなります。特に小さい子供がいる場合は火傷に注意してください。</p>
<p>■ 使用上の注意 調理専用器具ですので調理以外の用途には使用しない。</p> <p> 禁止</p> <p>過熱・異常燃焼による焼損や火災などの原因になります。</p>	<p>■ 使用上の注意 衣類の乾燥などに使用しない。</p> <p> 禁止</p> <p>衣類が落下して火災になることがあります。</p>
<p>■ 使用上の注意 お手入れの際に、機器と設置台の間に水をかけたり、機器に直接水をかけたりしないでください。</p> <p> 禁止</p> <p>漏電や機器故障の原因となります。</p>	<p>■ 使用上の注意 機器底部のスキマに物を入れない。</p> <p> 禁止</p> <p>機器底部からの冷却用空気の吸込みが悪くなり、機器が高温になり故障の原因となります。</p>
<p>■ 使用上の注意 機器をおおってしまうような大きな鉄板、陶板類や補助具などを使用しないでください。</p> <p> 禁止</p> <p>不完全燃焼による一酸化炭素中毒の危険があります。</p>	
<p>■ 使用上の注意</p> <ul style="list-style-type: none">・ゴトクと汁受けはこの調理器具用の付属品以外は使用しないでください。・なべをお使いになるときは24cm以下のものをご使用ください。・この製品は業務用です。家庭用には使用しないでください。	

お願い

- ・使用時の点火、使用後の消火のほか、使用中もときどき正常に燃焼していることを確かめてください。
- ・使用後は消火を確かめ、電源スイッチを『OFF』にし、ガス栓を必ず閉じてください。

■ 各部の名称と仕様

■ 各部の名称



■ 付属品

No.	部品名称	はたらき
①	トッププレート	ゴトク及び汁受けを受ける部品
②	ゴトク	土鍋を受ける部品
③	汁受け	鍋からの吹きこぼれを受ける部品
④	バーナキャップ	燃烧し熱を発生する加熱源
⑤	バーナ	ガスと空気を混合する部品
⑥	操作パネル	点火・消火・火力調節のための操作パネル
⑦	保護シート	操作パネルを防水・防塵保護する為のシート（各コンロの位置表示もかねています）
⑧	電源スイッチ	機器を動作する為のスイッチ
⑨	電源ランプ	電源スイッチ『ON』の時に点灯する表示ランプ
⑩	アジャスター	機器の水平度と高さを調節する部品
⑪	本体	バーナ・バーナキャップ・汁受け・ゴトクを受けている部品
⑫	底皿	ゴミなどを受ける部品
⑬	ガス接続口	ガスの取入口
⑭	電源コード	AC100Vコンセントにつなげ、機器に電気を送るコード

■ 各部の名称と仕様

■ 消耗品

バーナ・バーナキャップ・汁受け・ゴトク

■ 装着時の注意点

- ・汁受けをトッププレートに確実にセットしてください。斜めにセットされた場合は点火不良をおこして、着火しない場合があります。また、着火した場合でも、燃焼不良をおこし、火力が弱くなったり、立消えしたりする場合があります。

■ 仕様表

記載事項		記載内容		
品番		SCAK-042A	SCAK-062A	SCAK-082A
形式名		SCAK-042A	SCAK-062A	SCAK-082A
コンロの数		四口	六口	八口
表示ガス消費量	LP	11.80kW	17.70kW	23.60kW
	12A	11.20kW	16.80kW	22.40kW
	13A	12.00kW	18.00kW	24.00kW
空気調節器		固定式		
定格電圧		AC100V		
定格消費電力	50/60 Hz	60W/58W	84W/81W	107W/104W
寸法	横幅	450mm	670mm	890mm
	奥行	600mm		
	高さ	386.5mm		
ガス接続口		おねじ接続 R1/2		
立消え安全装置		あり（フレームロッド方式）		
フー	ド	～	必要	
質量		約35kg	約52kg	約70kg

※本製品には鍋は付属されておりません。

※予告なく仕様の一部を変更させていただくことがありますので、ご了承ください。

■ 設置について

■ 設置前の準備

- ・ 機器にあったガス栓を準備してください。（7ページ仕様表参照）
- ・ 機器のガス取り入れ口とガス栓の位置にあった金属可とう管、または、金属フレキシブルホースを準備してください。
- ・ 機器の消費電力に合わせ、漏電ブレーカーに接続されたAC100Vコンセントを準備してください。（7ページ仕様表参照）
- ・ 機器をダンボールから取り出して包装物をすべて取り除き、付属品を確認してください。

各機種種の付属品数量一覧

品番	ピビンパ用ゴトク	汁受け	取扱説明書
SCAK-082A	8	8	1
SCAK-062A	6	6	1
SCAK-042A	4	4	1

ご注意：本製品には鍋は付属されておりません。

■ 設置場所

- ・ 換気に注意してください。しめきった場所で長時間使用すると空気中の酸素が減少し、不完全燃焼による一酸化炭素中毒の危険がありますので、ご使用と同時に換気扇を回すなど換気にご注意ください。
- ・ 機器は可燃物から規定の寸法以上離して設置してください。
- ・ 機器の質量は約30kg～60kgありますので、十分な耐荷重の台に設置してください。
- ・ エアコンやスポットクーラーの風が機器にあたらないようにご注意ください。横風があたると燃焼不良を起こし、火力が落ちたり、立ち消えする場合があります。
- ・ 棚の下など落下物がある危険性の場所は避けてください。

■ 設置方法

- ・ 機器の設置、移動及び付帯工事はお買い上げの販売店に依頼し、安全な位置に正しく設置してください。
- ・ 機器のガス取り入れ口とガス栓を接続工事してください。

ガス種	機器の ガス取り入れ口	ガス接続	接続工事
都市ガス (12A・13A)	R1/2 (おねじ)	金属可とう管	ガス可とう管接続工事監督者のもとで行うか又は自ら行うこと
LPガス	R1/2 (おねじ)	金属フレキシブル ホース	液化石油ガス設備士が工事を行うこと

- ・ 機器のアジャスターを調整し、ガタツキがないように調整してください。また、機器の水平度を調整してください。
- ・ 機器の電源スイッチを『OFF』にして電源コードのプラグをコンセントに確実に差し込んでください。

■ 設置について（つづき）



■ 試点火及び試運転

- ・ 機器設置完了後は試点火及び試運転を行ってください。
設置直後は機器内部及び接続配管内部に空気が残っていますので、試点火を行ってもすぐに着火しませんが、故障ではありません。
空気が完全にぬけて燃焼ガスに着火するまで点火操作を繰り返してください。

およそ着火するまでの時間は約1分です。

※全口数のバーナを点火してください。

※試点火の方法はこのページの中の【操作の方法】にしたがって行ってください。

※空気が出ている間も点火のため放電を続けます。規定時間内に着火しないため、エラーメッセージ『E 1』が表示され警報がなりますが故障ではありません。ボタンを押してリセットし、再度、ボタンを押して再点火してください。この作業を着火するまで続けてください。

※接続管が長い場合及びガス管内部にも空気が残っている場合には、更に時間がかかる場合があります。


試点火が完了しましたら、もう一度、全バーナに着火し試運転を行ってください。

■ ご使用方法（設置完了後の標準的な使用方法説明）


■ ご使用前の準備

- ・ 装着部品（バーナ・バーナキャップ・汁受け・ゴトク）がもれなく確実に装着されていることを確認してください。（6ページ参照）
- ・ 機器とガス栓が金属可とう管又は金属フレキシブルホースで配管されていることを確認してください。
- ・ 機器の電源プラグが電源コンセントに接続されていることの確認し、電源コンセントは漏電ブレーカーに接続されている回路をご使用ください。
- ・ 電源スイッチが『OFF』の位置であることを確認してください。
- ・ 換気扇を回すなどして換気をしてください。

■ 操作の方法

- ・ 操作パネルの詳しいご使用方法は10ページの【操作パネル使用方法】を参照ください。
- ・ ガス栓を開けてください。
- ・ 機器正面の左下にある電源スイッチを『ON』にしてください。
作動音が出て元電磁弁が開き、電源ランプが点灯します。
- ・ 点火は保護シートのコンロ位置表示にしたがって、操作パネルのボタンを選択し、ボタンを1回押してください。「チッチッチ」という音とともに点火を開始します。点火後、予めプログラムされた火力と時間で調理を自動的に行います。
工場出荷時のプログラム設定は次のとおりです。

設定1	強火	3分	設定4	弱火	3分
設定2	弱火	3分	設定5	強火	60秒
設定3	強火	3分	設定6	消火（蒸らし）	10分

- ・ 設定5が終了すると蒸らし工程になります。消火しブザーが2回鳴り、赤ランプが点滅します。設定6が終了すると調理が完了したことをお知らせします。ブザーが3回鳴り、時間表示が【00】で点滅し、赤ランプが消灯します。再度、ボタンを押すと点滅が消え待機状態になります。

■ 火力の調節

- ・ 火力の調節はあらかじめ最良の状態に調節してありますので必要ありません。調理内容によって必要な場合には10ページの【操作パネル使用方法】を参照し、プログラム時間の設定を調整してください。

■ ご使用方法（設置完了後の標準的な使用方法説明）

■ 安全装置

- ① 再点火システム
調理開始時に点火ミスを起こした場合には自動的に再点火します。
7秒間経っても着火しない場合は自動的にガスを遮断します。
- ② 立消え安全装置
調理中に消火した場合にはガスを遮断します。

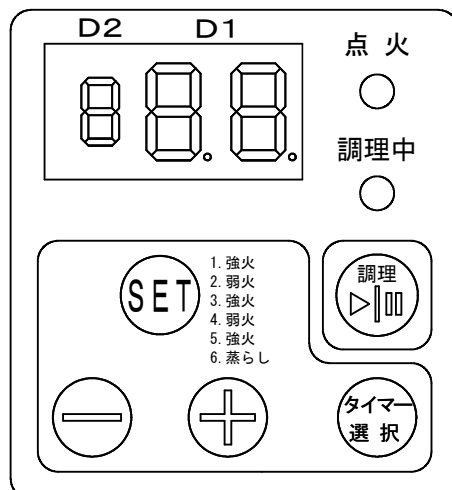
■ ご使用時の注意

- ・ 操作パネルのボタンは必ず指先で押してください。先端の鋭利なものなどを使用すると操作パネル表面が破損します。
- ・ 吹きこぼれ等によって消火していないか確認してください。

■ 停電時・災害時のご使用方法

- ・ ご使用中に万一停電が起こった場合、強制的に消火します。あわてずに電源スイッチを『OFF』に戻し、ガス栓を閉じておいてください。
停電復旧後は通常の操作の方法にしたがって点火を行なってください。
- ・ 災害時にはあわてず電源スイッチを『OFF』に戻し、ガス栓を閉じてください。

■ 操作パネルご使用方法



- ディスプレイ(D1) : 二桁で時間を分又は秒で表示します。調理時には出来上りまでの時間を分で表示、1分を切ると秒で表示し、調理終了時には点滅します。
- ディスプレイ(D2) : 一桁で調理時は1～4のプログラム番号を、プログラム内容設定時は1～3の調理段階番号を表示します。
- 点火ランプ : 着火中を点滅で知らせ、着火後、炎を検知している間点灯します。
- 調理中ランプ : 調理の開始を点灯して知らせ、調理終了時には消灯します。
- タイマー選択ボタン (プログラム選択) : 一回押すと現在のプログラム番号をD2に表示し、連続して押すとプログラム番号が1→2→3→4→1～の順に切り替わり4つのプログラムを切り替えます。
- 調理ボタン : 調理の開始・停止及び調理後点滅表示の解除やエラー時のリセットを行ないます。設定時には、設定値の決定を行ないます。
- SETボタン : 長押しによりプログラム内容設定モードになります。設定モードに切替わった後は調理の6パターン（1. 強火（予備炊飯）→ 2. 弱火（予備炊飯）→ 3. 強火（本炊飯）→ 4. 弱火（本炊飯）→ 5. 強火→ 6. 消火（蒸らし））を1より順に切替えます。
- +ボタン : プログラム内容設定モード時に設定時間を1ずつ加算します。長押しにより自動的に加算します。
- ボタン : プログラム内容設定モード時に設定時間を1ずつ減算します。長押しにより自動的に減算します。

■ ご使用方法（つづき）




【調理方法】 点火から—予備炊飯過程—本炊飯過程—追い炊き過程—蒸らし炊飯過程（消火）まで

1. 電源ON

本体全面左下のメインスイッチを『ON』にしますとスイッチの横にある電源ランプ（赤色）が点灯し、元電磁弁（メインバルブ）が開き待機状態になります。待機状態では、操作板の全てのランプは消灯しています。




2. 土鍋をセットしてください。

3. プログラム選択


 ボタンを押すと  に現在のプログラム番号が表示されます。表示は約2秒後に自動的に消灯します。プログラム番号を変更するには、プログラム番号表示中に続けてもう一度  ボタンを押すと、ボタンを押す度に順に次のプログラム番号に切替わりますので、1～4のプログラムから好みの番号に合わせてください。


注）工場出荷時は、プログラム1～4の全てが仮の時間に設定してあります。（9ページ参照）
【プログラム内容設定方法】を参照の上、好みの時間に調整してください。

4. 調理開始

 ボタンを一度押しますと、点火ランプ・調理ランプが点灯し  に現在のプログラム番号が、 に調理完了までの時間が分単位で表示され、調理を開始します。調理完了までの時間が残り1分を切りますと自動的に秒単位の表示に切替わり59から減算されます。

5. 調理完了

調理が完了しますと、ブザー「ピーッ、ピーッ、ピーッ」が3回鳴り、点火ランプとプログラム番号が消えて、仕上り時間表示【00】が点滅を続けて調理完了を知らせます。 ボタンを一度押しますと解除され、全てのランプ・表示は消え、待機状態になります。尚、調理中に

 ボタンを押しますと同様に調理は停止（解除）され待機状態に戻ります。

（ご注意）調理に蒸らし炊飯過程を設定されますと調理完了時にごはんが炊きあがっています。


【プログラム内容設定方法】

この製品は、個々のプログラムのなかで1（強火）→2（弱火）→3（強火）→4（弱火）→5（強火）（追炊き）→6（消火）蒸らし炊飯過程と火力が変化し、お好みに応じて各々の火力の調理時間を設定することができ、4種類のプログラムを記憶することが出来ます。又、制御回路はすべて独立していますので特定のコンロのみ設定変更することができます。

1. 電源ON


本体全面左下のメインスイッチを『ON』して、スイッチの横にある電源ランプ（赤色）が点灯し、操作板の全てのランプは消灯している、待機状態になっていること確認してください。

2. 変更したいプログラムの選択








 ボタンを押して、設定を行ないたいプログラムの番号に合わせてください。

（調理方法3. 【プログラム選択】の項参照）

3. タイマー設定機能への切替


 ボタンを2秒以上押し続けると、タイマー設定機能に切替わりプログラム番号表示部に1（強火）→2（弱火）→3（強火）→4（弱火）→5（強火）→6（消火）の設定番号が、時間表示部に現在の設定時間が点滅表示され、現在選択状態にあるプログラムの設定時間を変更することが可能な状態になります。

4. 時間設定の変更

 ボタンを押す度に1、2～6、と設定番号が変化し1に戻りますので変更したい設定番号に合わせて、  ボタンを押して任意の時間を設定してください。 ボタンは加算、 ボタンは減算です。  ボタンは、押し続けると自動的に加算又は減算を行ないます。各設定の調整範囲は次の通りで、この範囲内で調整してください。

設定1. 強火（予備炊飯過程）	（00～10分）	設定4. 弱火（本炊飯過程）	（00～20分）
設定2. 弱火（予備炊飯過程）	（00～15分）	設定5. 強火（追炊き炊飯過程）	（00～99秒）
設定3. 強火（本炊飯過程）	（00～20分）	設定6. 消火（蒸らし炊飯過程）	（00～30分）

5. 時間設定の決定

時間設定が完了しましたら、 ボタンを押してください。点滅表示が消え、設定内容が決定されて記憶します。

■ ご使用方法（つづき）

■ エラーについて

- ・この製品には、回路チェック機能が装備されており、点火や燃焼の異常時にエラーメッセージとブザーでお知らせします。
 - ・エラー表示は時間表示部に下記のように表示し、ブザーが短い間隔で鳴りつづけます。エラーの解除は ⊕ を1回押してください。
- ※『E6』だけは安全のため操作パネル上で解除は出来ません。エラーの解除は電源スイッチを『切』にしてから再度『入』にしてください。それでも解除できない場合は修理が必要です。

表示	異常現象名	異常の現象	異常現象の処置
E 1	初期不着火発生	初期点火時、規定時間以内に点火できなかった場合	<ul style="list-style-type: none"> ・点火プラグ、フレームロッドが汚れたり、濡れたりしていないか確認し、固く絞った布巾に中性洗剤を少し含ませて掃除し、乾いた布で拭き取ってください。 ・バーナの炎口が詰まっていないか確認し、針金などで掃除してください。 ・ガス栓のヒューズコックが作動した可能性があります。ガス栓を一度閉じてからゆっくり開けてください。 ・ガス接続ホースが折れ曲がったり、つぶれたりしていないか確認して修正してください。 ・上記でも直らない場合は、修理依頼をしてください。
E 2	途中失火発生	燃焼中に炎が検知されなくなった場合	<ul style="list-style-type: none"> ・フレームロッドが汚れたり、濡れたりしていないか確認し、固く絞った布に中性洗剤を少し含ませて掃除し、乾いた布で拭き取ってください。 ・バーナの炎口が詰まっていないか確認し、針金などで掃除してください。 ・バーナの炎がフレームロッドに接触しているか確認してください。（エアコンの風などで揺れていないか確認） ・上記でも直らない場合は、修理依頼をしてください。
E 3	擬似火炎検知	繰返し使用時、点火時に残火が検知された場合	<ul style="list-style-type: none"> ・フレームロッドが汚れたり、濡れたりしていないか確認し、固く絞った布に中性洗剤を少し含ませて掃除し、乾いた布で拭き取ってください。 ・上記でも直らない場合は、修理依頼をしてください。
E 4	消火異常	消火状態の時に炎が検知された場合	<ul style="list-style-type: none"> ・フレームロッドが汚れたり、濡れたりしていないか確認し、固く絞った布に中性洗剤を少し含ませて掃除し、乾いた布で拭き取ってください。 ・上記でも直らない場合は、修理依頼をしてください。
E 5	燃焼制御通電異常	燃焼制御通電出力に異常が検出された場合	<ul style="list-style-type: none"> ・基板の故障です。修理依頼をしてください。
E 6	点火異常	点火操作が5秒以上連続で行われた場合	<ul style="list-style-type: none"> ・電源スイッチを『切』にしますと解除します。繰り返えし表示するようであれば基板の故障です。修理依頼をしてください。

■ E 2 途中失火時の対応についてのお願いとご注意

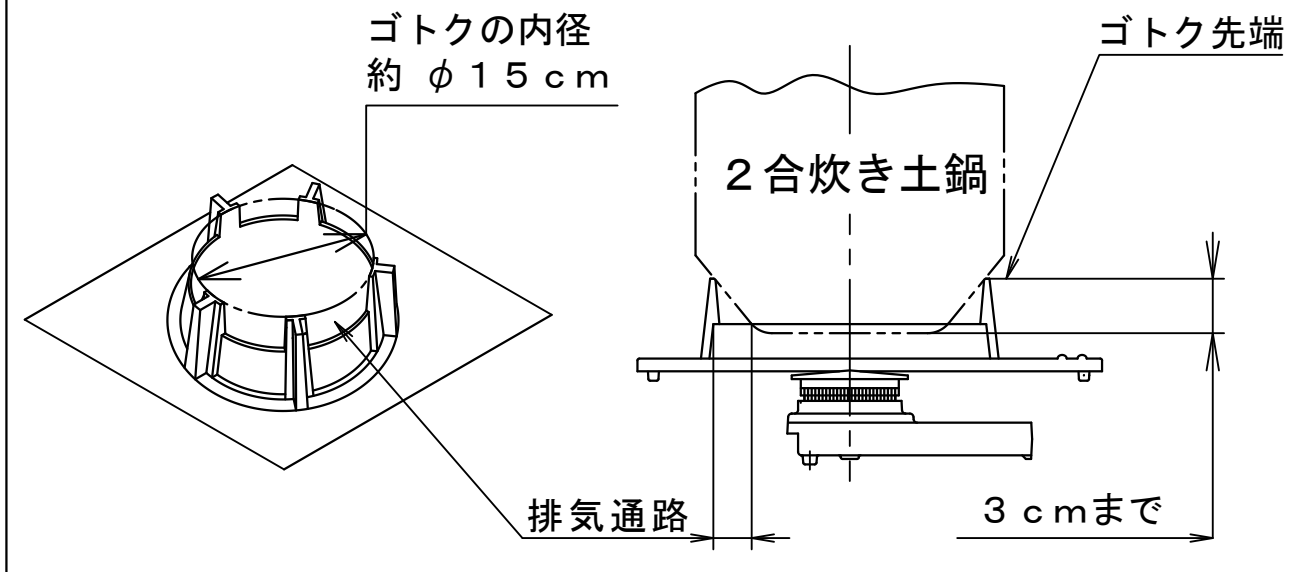
- ・この製品には調理中、何らかの原因で火が消え『E2』を表示し、ブザーが短い間隔で鳴り続ける途中失火になった場合、 ⊕ ボタンを押すことで、継続調理を行う機能が内蔵されています。
 - 『E2』が表示された状態で ⊕ ボタンを押すと、途中失火した続きから調理を再開します。
- ※ ⊕ を押してリセットしてしまうと継続調理はできませんのでご注意ください。

■ ご使用方法（つづき）

■ 土鍋の選び方（参考）

この製品に土鍋は付属しておりません。
下記を参考にガス火に使用出来る土鍋を用意してください。

- ・土鍋は下図のゴトク寸法を参考にし、2合炊きの鍋を用意してください。
- ・土鍋の底がゴトクの内径の中に1～2 cm程度入り安定してセット出来る寸法が目安です。
- ・土鍋がゴトクの中に落ち込んでしまったり、排気通路を塞いでしまう土鍋は使用出来ません。ゴトク先端から3 cm以上はまり込む土鍋、ゴトクにはまらず、不安定な土鍋も安全上使用出来ません。
- ・土鍋のご使用上の注意に関しましては土鍋に付属の取扱説明書に従ってください。



■ 日常の点検・お手入れ

日常点検およびお手入れを行なわれる場合、次の事項を必ずお守り頂いた上「日常の点検・お手入れ」の項に記載されたとおりに行なってください。

■ 点 検



警告

- 点検前に必ずガス栓が閉じられていて、機器が冷えているかを確認してください。やけどのおそれがあります。
- ガス管（ゴム管、ゴム管止め、可とう管など）の劣化や接続は必ず点検してください。ガス漏れの原因になります。
- 機器の周辺に可燃物や危険物がないことを確認してください。

- ・ 点検・お手入れの際には必ずガス栓を閉じ、機器が冷えてから行ってください。
- ・ ゴム管接続の場合、ゴム管が、器具及びガス栓の両方共、赤い線まで十分に差し込まれていてゴム管止めが取り付けられているかを点検してください。
- ・ ゴム管が古くなってひび割れしたり差し込み口がゆるんで、ガス漏れしていないかときどき石けん水などをかけて点検してください。
- ・ 機器の周辺に、紙・プラスチック・スプレー缶・油類などの可燃物を置いていないか点検してください。
- ・ 立消え安全装置付きのものは、立消え安全装置に汚れが付着していないか点検してください。

■ お手入れ



警告

- 酸性・アルカリ性の洗剤を、本体にかけないでください。ガス通路部品が腐食し、ガス漏れをおこし、危険です。
- 本体を水につけたり、水をかけたり、丸洗いはしないでください。着火不良や不完全燃焼の原因となります。

- ・ 市販の業務用洗剤には、ガス器具に使用している部品を腐食させる成分が含まれている場合があります。洗剤の注意書などで成分を確認してください。
- ・ 本体に、強力な洗剤の原液などを直接吹きつけたり、本体を丸洗いされますと、器具栓やガス導管などのガス通路の機能部品が腐食・破損しガス漏れなどにいたるおそれがあります。
- ・ 機能部品を清掃・お手入れされる場合は、布切れに中性洗剤を含ませて拭き取り、仕上げに濡れフキンで拭き取ってください。
- ・ 汚れのひどい、ゴトク、汁受け、底皿など本体より取り外しが出来る部品は、本体より取外しシンクなどで洗浄して、乾いた布などで拭いてください。
- ・ 機能部品に強い洗剤の原液などがかった場合は、固く絞った濡れフキンなどで拭き取ってください。
- ・ 業務用洗剤ご使用時は洗剤の取扱説明書や使用上の注意をよくお読み頂き、従ってください。
- ・ 本体を水につけたり、水をかけたり、丸洗いなどはしないでください。機能部品や、バーナに水がかかった場合は、必ず水気を乾いた布切れなどで拭き取ってください。

■ 日常の点検・お手入れ

●お手入れ道具と洗剤

使ってよいもの	
本体表面など	●中性洗剤 ●やわらかい布 ●スポンジたわし ●ナイロンたわし ●シュロブラシ等やわらかいブラシ
こびりついた汚れ用	●スクレーパー（へら）
バーナキャップ清掃用	●真ちゅうブラシ ●針金
使ってはいけないもの	
●酸性・アルカリ性洗剤 ガス機器に使用している部品を腐食させ、故障やガス漏れの原因になります。	●スプレーボトル式洗剤 機器内部に洗剤が入りますと部品を腐食させ故障の原因となります。直接かけずに布などに含ませてからお手入れしてください。
●クレンザー（みがき粉）、金属たわし 部品や塗装の表面にキズがつき、サビなどの原因となります。	●ベンジン・シンナー・アルコール 部品や塗装の表面が変質し、変色・塗装はがれ、サビなどの原因になります。

機器の性能を維持し、衛生かつガス漏れによる事故や機器の故障、劣化などによる異常発生を未然に防止するため、日常点検および定期清掃は必ず行ってください。

■点検・お手入れの際のご注意

- ・日常の点検・お手入れは、必ず行ってください。
- ・特に煮こぼれた時は、必ずバーナの清掃を行ってください。
- ・故障または破損したと思われるものは、使用しないでください。
- ・不完全な修理は危険です。万一具合が悪くなって処置に困るような場合は、お買い上げになった販売店にご相談ください。
- ・点検・お手入れの際には必ずガス栓を閉じ、電源スイッチを『OFF』にして、機器が冷えてから行ってください。
- ・お手入れの際には指先に十分注意してください。
- ・機器内部をお手入れする場合は手袋を着用して行ってください。各部品の突起等に力強く当たった場合、手を切ることがありますので注意してください。
- ・水をかけたり、多量の水を含んだ布等での清掃は避けてください。

※機器の内部には電気部品が内蔵されています。機器本体に水をかけたり、機器の底と設置台とのスキマに多量の水をかけたりすると、底部の空気穴等から水が入って、漏電や機器故障の原因となります。

■点 検

- ・各部品とも正しくセットされていることを確かめてください。
- ・バーナおよびその周辺に破損や不具合など異常がないか確かめてください。
- ・点火プラグとフレームロッドの周辺に異物の付着など異常がないか確かめてください。
- ・機器周辺に可燃物・障害物などがいないか確認してください。特に機器の周りのガラリは空気取り入れ口となっていますので、ふさがないように注意してください。

■お手入れ

- ・本体は、吹きこぼれや炭化物が付着すると取れにくくなりますので、毎日1回、手袋を着用して中性洗剤を含ませた濡れぶきんでふき取り、清掃してください。後は乾いた布で十分に水気をとってください。
- ・汁受けは毎日1回、手袋を着用して中性洗剤で水洗いしてください。乾燥後は元どおり装着してください。（6ページ参照）

■ 日常の点検・お手入れ（つづき）

■ 点火プラグ・立消え安全装置（フレイムロッド）の点検、お手入れ

点検

吹きこぼれや炭化物が付着した状態で使用を続けると、着火に時間がかかったり、着火しない場合がありますので、必ず日常の点検を行なってください。

お手入れ

電極に異物の付着がある場合は、中性洗剤を含ませた布で清掃してください。
碍子部（白いセラミック）に異物の付着がある場合には中性洗剤を含ませた布で清掃してください。

注意

電極は曲げない様に注意してください。



点火プラグと炎検出部（フレイムロッド）に異物の付着がある場合は炎色反応が発生します。異物の付着がある場合は中性洗剤を含ませた布で清掃してください。

■ バーナキャップのお手入れ

点検

油や炭化物が付着した状態で使用を続けると、異常燃焼を起こし火が消えたり、着火しない場合がありますので、必ず日常の点検を行なってください。

お手入れ

図のように『針金』・『ブラシ』などを使用してバーナキャップの溝を掃除してください。
油汚れが激しい場合は布に水と中性洗剤を少し付けて拭き取ってください。

お願い

ご使用の土鍋に大きなヒビ割れが出来た状態で使用されますと、多量の油が漏れてバーナキャップに付着し不具合が発生します。

必ず、ご使用の土鍋に付属の説明書の使い方の通りにならし焼きを行ってから使用して頂き、大きなヒビ割れが出来ないようにしてください。



■ 日常の点検・お手入れ（つづき）

■ バーナのお手入れ

点検

油や炭化物が付着した状態で使用を続けると、異常燃焼を起こし火が消えたり、着火しない場合がありますので、必ず日常の点検を行なってください。

お手入れ

図のように『ブラシ』を使用してバーナの内部を掃除してください。油汚れが激しい場合は布に中性洗剤を少し付けて洗い、布で拭き取ってください。また、バーナ周辺の汚れも不完全燃焼の原因になるので汚れたら掃除してください。



■ 故障・異常の見分け方と処置方法

原因	現象									処置方法	
	ガスの臭いがする	点火しない・点火しにくい	着火・火移りがしにくい	炎が黄火で燃える	炎が飛ぶように燃える	異常な音をたてて燃える	炎が異常に小さい	炎が異常に大きい	炎が安定しない		使用中に炎が消える
ガス配管接続が不完全	○										ガス配管の接続を確実にする
ガス栓の開きが不十分		○	○								ガス栓を全開にする
LPガスがなくなりかけている		○	○	○		○			○	○	新しいボンベと交換する
配管中に空気が残っている		○	○		○				○		点火操作を繰り返す
銘板表示のガスと使用ガスの不一致		○	○	○	○	○	○	○	○	○	ただちに使用をやめ、販売店に連絡し使用ガスに合った機器と交換
点火操作が適切でない		○	○								正しい点火操作を行う
電源が入っていない		○	○						○		電源コード・電源スイッチを入れてください
バーナの炎口が詰まっている	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	バーナの炎口を清掃する
バーナの取り付けが悪い		○	○	○	○	○			○	○	バーナを正しく取り付ける
立消え安全装置		○	○						○		P16に記載の立消え安全装置の項参照
バーナが劣化している		○				○			○		販売店に連絡し、修理してください

■ 長期間使用しない場合

- 長期間使用されない場合は各部を清掃し、電源スイッチを『OFF』にして電源コードをコンセントから抜き、ガス栓を閉じて保管してください。

■ 廃棄するときは

- 機器を取り替えた場合、旧機器は専門の業者に処理を依頼する。もし、お客様で旧機器の処理をする場合、乾電池を使用している機器は、乾電池を取り外してから正規の処理を行ってください。

■ アフターサービスについて

■ サービス（点検・修理など）を依頼される前に

- ・ サービスを依頼する前に17ページの「故障・異常の見分け方と処置方法」の項でもう一度確認の上、それでも不具合な場合あるいはご不明な場合は、ご自分で修理をなさらないでお買い上げの販売店にご連絡ください。
- ・ アフターサービスをお申し付けのときは、次のことをお知らせください。
 - ① 製品名・製品番号（銘板に表示のもの）・ガスの種類
 - ② 住所・氏名・電話番号・道順
 - ③ 現象（できるだけ詳しく）
 - ④ 製品購入日・販売店・訪問希望日・時間帯

■ 転居または機器を移設される場合

- ・ ガスの種類が異なる地域へ転居または移設される場合には、部品交換や調整が必要となりますので、転居先のガスの種類をご確認の上、必ずお買い上げの販売店またはもよりのガス事業者にご相談ください。
- ・ この場合、保証期間内でも、調整・改造に要する費用は有料となります。ただし、ガスの種類によっては調整できない場合があります。

■ 保証について

- ・ 「正常なご使用状態」において、しかも「製造上の責任」により発生した機器の故障にかぎり、お買い上げ日より「1ヶ年無償修理」といたします。ただし次の場合は保証期間中でも「有償修理」といたします。
 - ① 誤った使い方をされたときの故障
 - ② 移動によって生じた損傷・故障
 - ③ 改造された場合の故障
 - ④ 天災による損傷・故障
- ※修理によって機能が維持できるときは、お客様のご希望により有料で修理いたします。

■ 消耗品

- ・ 消耗品は、保証期間中でも有償となります。（7ページを参照）

■ 補修用性能部品の最低保有期間について

- ・ この土鍋ガッツ楽々の補修用性能部品の最低保有期間は製造打ち切り後5年です。

■ 連絡先

- ・ 土鍋ガッツ楽々をお使いになった上で、なにか不明な点や不具合な点がございましたら、お買い求めになった販売店か当社へ連絡してください。

■ お客様の個人情報の取り扱いについて

- ・ 当社はお客様よりお知らせいただいたお客様のお名前・ご住所・電話番号などの個人情報を、サービス活動および安全点検活動のために利用させていただく場合がございますのでご了承ください。
- ・ 当社は、機器の修理や点検業務を当社の協力会社に委託する場合、法令に基づく業務の履行または、権限の行使のために必要な場合、その他正当な理由がある場合を除き、当社以外の第三者に個人情報を開示・提供はいたしません。

■ M e m o

YAMAOKA

山岡金属工業株式会社

ISO14001/ISO9001認証取得

本 社 / 〒570-8585 大阪府守口市東郷通2丁目7番30号
TEL.(06)6996-2351 FAX.(06)6997-3045
東京支店 / 〒101-0052 東京都千代田区神田小川町1-6-4 新福神ビル9階
TEL.(03)3255-6755 FAX.(03)3255-6722

URL <http://www.silkroom.co.jp> / E-mail info@silkroom.co.jp
夢工房「技術・文化館」「技術・開発館」を本社に併設しております。